

授業科目	初級日本語					単位	1	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO12001J	
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2			
担当教員	神崎 明坤							
授業概要	日本語コミュニケーション能力の基礎力養成に重点を置く。 日本の大学の講義を受ける前提としての、日本語のコミュニケーションに必要な基礎的な理解能力・表現能力(話す・聞く・書く・読む)を実践的に訓練する。							
学生が達成すべき行動目標	1、日本人とコミュニケーション能力を身につけることができる。 2、日本語を読む能力を高めることができる 3、日本の経済、社会、文化等を習得することができる。 4、日本語の検定試験の問題を解答することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	20	5	30	5	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	10	10	5	20	5	3	53	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	5	5	2	5	3	3	23	
思考・判断 (DP2-2)	5	5	2	5	3	4	24	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
示されている4つの到達目標を達成できると同時に習得した知識を活かしてレポートの作成や発表ができる。				示されている4つの到達目標を達成することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	授業の進め方についての説明 自己紹介	講義	該当部分の復習・予習	90
2	声：明瞭な発音で話す、適度な速さ 大学の紹介①	講義	該当部分の復習・予習	90
3	さまざまな言葉・表現に触れる：朗読・暗唱 大学の紹介②	講義	該当部分の復習・予習	90
4	日本文化・言葉の学習 新聞の読み方	講義	該当部分の復習・予習	90
5	日本の地理の紹介 課題の発表	講義	該当の部分の復習・予習	90
6	日本の民族性と日本人の性格 課題の発表	講義	該当部分の復習・予習	90
7	日本の政治の紹介 新聞の読み	講義	該当部分の復習・予習	90
8	日本の経済の紹介 課題の発表	講義	該当部分の復習・予習	90
9	日本の文学の紹介 村上春樹の作品の鑑賞	講義	該当部分の復習・予習	90
10	日本の有名な観光地の紹介 課題の発表	講義	該当部分の復習・予習	90
11	日本の食文化の紹介 レポートの書き方	講義	該当部分の復習・予習	90
12	日本の大学生の紹介 課題の発表	講義	該当部分の復習・予習	90
13	日本映画の鑑賞	講義	該当部分の復習・予習	90
14	日本語検定試験問題の対応	講義	該当部分の復習・予習	90
15	前期の纏め 留学生活感想の発表	講義	総復習とレポート提出	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本語の基礎知識を有する必要がある。			
テキスト	適宜、教室で指示する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「恥をかかない日本語の常識」（日本経済社新聞編） 必要に応じて紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学の図書館をしっかり利用すること。 各種の新聞を積極的に読むこと。			
達成度評価に関するコメント	成績の評価及び課題の内容については、授業中で指示をする。			